

第4学年1組 外国語活動学習指導案

場 所：4年1組教室

指導者：大石 由紀

1 単元名 “Alphabet” (Let's try 2 unit 6)

～友達のお気に入りのロゴマークを探ろう！～

2 単元とその指導

(1) 単元について

本単元では、3年生ですでに出会っているアルファベットの大きい文字に加え、小さい文字の学習をする。看板や商品のロゴマークを見て身の回りにはアルファベットの大きい文字と小さい文字が多く使われていることに気付いたり、その形と一文字一文字の名称の読み方を知ったりすることがねらいである。また、単元終末には、これまでに慣れ親しんだ“Do you have a(an)～?”や“How many～?”などの表現を使って、友達とお互いのお気に入りのロゴを、やり取りをしながら紹介し合う。お互いに音声で聞き取ったアルファベットがどの形なのかを考えながら、質問したり、答えたりする。また、児童は、アルファベットの一文字一文字の読み方に加え、3年生の国語で学習したローマ字読みを手掛かりにして、文字の並びを考え、友達が伝えたいロゴが何なのかを推測する。このように、身の回りでよく見られるロゴマークを題材にし、アルファベットの文字の形やその読み方をコミュニケーション活動の中で活用することで、一つ一つのアルファベットの文字が集まって意味のある語になっていることにも気付きやすいと考える。ただし、看板や標示にある単語を読めるようになることはねらいとしていない。

さらに、友達のお気に入りのロゴを知ることで、食べ物、キャラクター、スポーツブランドやゲームなどの好みに加え、色や形の好みを知ることができ、友達の新たな一面にも気付くことができる。と考える。

(2) 児童について

本学級の児童は、31人中29人が「外国語活動の授業が好き」または「どちらかと言えば好き」と答えている。外国語活動の授業で楽しいと思うことを問われると、「ゲームをすること」が27人いる一方で、「友達とやり取りをすること」が15人となっている。ゲームは楽しんでいるが、英語で自分の気持ちや考えを伝え合うことには抵抗感がある児童が学級の半数いることになる。これまでのやり取りでは、コミュニケーション活動の約束を正しく理解していなかったり、日本語ばかり使って活動を早く終わらせようとしたりする様子が見られる。さらには、特定の友達としか話そうとしないため、友達の意外な一面に気付く面白さを感じることができている児童は少ない。

アルファベットの文字については、3年生の外国語活動で大文字を学習したほか、国語でローマ字として大文字も小文字も学習している。また、算数では低学年のころから、長さや重さの単位としてmm(ミリメートル)やkg(キログラム)などを読んだり書いたりしている。

そこで、本単元では、児童が、「アルファベットの形や読み方を知って、やり取りの中で使ったら、友達のことが分かる！」「私のお気に入りのロゴに使われているアルファベットを一つ一つ丁寧に聞いてくれて嬉しかった。」と思えるような、相手に配慮してコミュニケーションが取れるようにしていきたい。

(3) 指導について

指導にあたっては、児童の実態から英語表現を使って伝え合う楽しさを感じることのできる活動が必要と考え、単元終末に「友達のお気に入りのロゴマークを探ろう！」という最終課題を設定した。

単元の導入部分では、クイズを通して、児童が普段何気なく見ている看板や標示の中にあるアルファベットに目を向けさせる。身の回りには、小さい文字の活字体を使って表されているものがたくさんあることに気付かせ、歌やゲームを通して、文字の形や読み方に慣れ親しませるようにす

る。また、ペアで活動する機会をできるだけ増やし、協働して聞いたり話したりすることで、友達との1対1のやり取りがスムーズにできるようにしていきたい。

本時は、これまでの単元で慣れ親しんだ“Do you have a(an) ~?”や“How many ~?”などの表現を使い、友達のお気に入りのロゴマークに使われているアルファベットを尋ね合う活動を行う。前時に、大文字と小文字が混在しているか、小文字のみで構成されていることを条件にして、お気に入りのロゴを選び、問題を準備しておく。ロゴマークの中に、どのアルファベットが使われているのかを聞くとき、それらが小文字か大文字かを確認する場面や揃ったアルファベットから導いたお気に入りのロゴマークが合っているかを確認する場面が想定できる。また、使われているアルファベットは分かっても、並び方が分からず、ヒントが必要な場面も考えられる。そこで、中間評価では、“Big? Small?”や“○○, OK?”など場面に合った英語表現を使い、何とかして友達のお気に入りのロゴマークを導き出そうとしている姿を認めるようにする。児童の大半が文字を尋ね合うことに慣れてきたら、お気に入りのロゴから、推測できる友達の好みについて尋ねる活動を紹介する。ここで、“Do you like ~?”や“What ~ do you like?”などの既習表現を使うことになるが、本学級の児童にとって、友達のお気に入りのロゴに使われているアルファベットから友達の好みを想像して即座に質問を加えることは難しいと考える。そこで、この後に会話を続けるとしたら、どのような質問ができるかを全体で考えさせる。これまでに慣れ親しんだ英語表現がどのような場面で使えるのかということや、さらに質問を付け加えることで友達のことをより詳しく知ることができることにも気付かせたい。これにより、高学年のスマールトークへの橋渡しとなると考える。

3 単元の目標

身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気付き、活字体の小文字の形とその読み方に慣れ親しむ。また、それらが使われているロゴマークでクイズを出したり答えたりする中で、相手に配慮しながらアルファベットの文字について伝え合う。

4 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りには活字体の字で表されているものがたくさんあることに気付き、活字体とその読み方に慣れ親しんでいる。 文字の読み方を聞いて、活字体で書かれた文字と結び付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の単元で記録に残す評価を行うこととする。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の単元で記録に残す評価を行うこととする。
(やり取り)話すこと	<ul style="list-style-type: none"> “Do you have a(an)~?” “How many ~?”を使って指導者や友達のお気に入りのロゴを尋ねることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達のお気に入りのロゴを知るために、大文字と小文字を識別したり、アルファベットの並び方からロゴマークを予測したりしながら、お互いのお気に入りのロゴマークを伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達の好きなロゴを知るために、相手に配慮しながら、大文字と小文字を識別したり、アルファベットの並び方からロゴマークを予測したりしながら、お互いのお気に入りのロゴマークを伝え合おうとしている。

5 単元指導計画（全5時間）

時	活動名（◇） 目標（◆） 活動内容（○）	評価			
		知	思	主	評価規準（評価方法）
1	◇ アルファベットの形や読み方になれよう！ ◆ 身の回りには活字体の文字で表されているものがたくさんあることに気づき、活字体の小文字の形や読み方に慣れる。				
	○ アルファベットロゴクイズ クイズを通して、身の回りにあるアルファベットの形や読み方を確かめる。 ○ 【Let's sing】ABC song p23 ○ 【Let's Chant】Alphabet Chant p23 歌いながら、画面に出てくるアルファベットを見ながら、小文字の形に慣れる。 ○ 【Let's watch and think】 p22 身の回りにある看板や標示を見て、アルファベットの小文字を知る。 ○ ポインティングゲーム 指導者の後について文字の名称を言いながら、2人で協働してその文字を探して指さす。			小文字に慣れ親しむという目標に向かって指導は行うが、評価の記録は残さない。次時に合わせて、小文字に慣れ親しんだかどうかの評価記録を残す。	・ 身の回りには活字体の文字で表されているものがたくさんあることに気付いている。 (行動観察・振り返りカード点検)
2	◇ みんなの名前やロゴから、アルファベットの小文字をさがそう！ ◆ 活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。				
	○ 【Let's Sing】ABC song p23 ○ 【Let's Chant】Alphabet Chant p23 ○ マッチングゲーム 指導者と一緒に大文字と小文字を合わせ、形の違いに慣れる ○ カード並べ カードを使い、友達と協働してアルファベットの順番に並べる。 ○ ポインティングゲーム ○ 小文字探し 自分や友達の名前、ロゴの中から小文字を見つけ、形と読み方に慣れる。 ○ 【Let's Listen】 p24 P22,23を見ながら、“Who am I?Quiz”を聞いて、それがどの看板や標示なのかを考える。	聞		・ 活字体の小文字の読み方を聞いたり、言ったりしている。 (行動観察・振り返りカード点検)	
3	◇ 先生方のお気に入りのロゴをあてよう！ ◆ 活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。				
	○ 【Let's Sing】ABC song p23 ○ 【Let's Chant】Alphabet Chant p23 ○ アルファベットタイム (マッチング、カード並べ、ポインティング) ○ 先生方のお気に入りのロゴクイズ パートI 相手のお気に入りのロゴを知るために必要な表現を想起し、それらに慣れ親しむ。 ○ 【Activity】 p25 5つの表示から1つ選び、ペアになって文字について尋ね合い、相手の表示を考えて答える。	聞	聞	・ 身の回りにあるアルファベットの文字について尋ねたり答えてりしている。 (行動観察・振り返りカード点検)	
4	◇ 自分のお気に入りの小文字入りロゴをさがそう！ ◆ 大文字と小文字を識別し、小文字の入ったロゴの中で好きなものを選んで、担任と簡単なやり取りができる。				

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【Let's Sing】 ABC song p23 ○ 【Let's Chant】 Alphabet Chant p23 ○ アルファベットタイム (マッチング、カード並べ、ポインティング) ○ 先生方のお気に入りのロゴクイズ パートⅡ ○ 自分のお気に入りの小文字入りロゴを探す。 小文字入りロゴという条件を満たしたロゴの中でお気に入りのロゴを探し、担任と簡単なやり取りをする。 	や			<ul style="list-style-type: none"> ・ 小文字入りのアルファベットのロゴの中から自分の好みのロゴを選び、そのことについて、担任と簡単なやり取りができる。 (行動観察・振り返りカード点検)
5 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 友達のお気に入りのロゴをさがろう！ ◆ 相手に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合おうとする。 				
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【Let's Sing】 ABC song p23 ○ 【Let's Chant】 Alphabet Chant p23 ○ アルファベットタイム (ポインティング、カード並べ、) ○ お気に入りのロゴを伝え合う 前時に選んだお気に入りのロゴの文字について尋ね合い、相手の好みを知る。 	や	や	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達のお気に入りのロゴを知るために、大文字と小文字を識別したり、アルファベットの並び方からロゴマークを予測したりしながら、お互いのお気に入りのロゴマークを伝え合っている。 (行動観察・振り返りカード点検) ・ 友達の好きなロゴを知るために、友達の好みを想像しながら、大文字と小文字を識別したり、アルファベットの並び方からロゴマークを予測したりしながら、お互いのお気に入りのロゴマークを伝え合おうとしている。 (行動観察・振り返りカード点検) 	

6 言語材料

Look. What's this? Hint, please. How many letters? I have (six). Do you have a ("b")?

Yes, I do. /No, I don't. That's right.

小文字 (a~z), bookstore, juice, news, school, station, taxi, telephone
up, down, left, right, look, shop, 数 (1~60), 大文字(A~Z),

7 本時の指導 (5 / 5)

(1) 目標

相手に配慮しながら、お気に入りのロゴマークに使われているアルファベットの文字について伝え合っている。

(2) 評価規準

- ・ 友達のお気に入りのロゴを知るために、大文字と小文字を識別したり、アルファベットの並び方からロゴマークを予測したりしながら、お互いのお気に入りのロゴマークを伝え合っている。

【思考・判断・表現】

- ・ 友達の好きなロゴを知るために、友達の好みを想像しながら、大文字と小文字を識別したり、アルファベットの並び方からロゴマークを予測したりしながら、お互いのお気に入りのロゴマークを伝え合おうとしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

(3) 展開 (5/5)

時配	過程	児童の活動	教師の働き掛け (○)、評価 (◎)、 Bに満たない児童への手立て (※)	準備 ICT(☆)
6	導入	1 アルファベットタイム ・ ソング・チャンツ ・ カード並べ 2 本時のめあてを確認する。	○ アルファベットの小文字の形と読み方に気を付けながら進めるように声を掛けたり、ペアでうまく進められていない児童を支援したりする。	☆電子黒板 ・アルファベットカード、シート
30	展開	3 先生クイズに答える中で、お気に入りのロゴを探るときに使う英語表現を想起する。 4 お気に入りのロゴを尋ね合う。	○ 前時までの学習で使ったことのある表現を想起させ、この場面に合ったやり取りの見通しを立てさせる。 ○ 適宜、中間評価 (中間指導) を行う。	・ワークシート
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Today's goal</p> <p>友達のお気に入りのロゴマークを探ろう！</p> </div>				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>中間評価 (中間指導) の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アルファベットの読み方や大文字か小文字か、数など文字に関する情報を適切な表現を使って尋ねているか。 ・ 聞き取ったアルファベットの情報から並び方の見当をつけ、友達のお気に入りのロゴを導き出そうとしているか。 </div>				
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>〈予想される児童のやり取り〉</p> <p>A : What's my logo? B : How many letters? A : Five. B : Do you have an "a"? A : Yes. B : How many "a"s? A : Two. B : OK. (ほかの文字についても繰り返し尋ねる) A : Do you have an "f"? B : Yes. A : Big or small ? B : Big. A : OK. ……Your logo is "Fanta!" B : Yes. That's right! A : Nice!</p> <p>○ 中間評価 (中間指導) 後、活動を再開し、次の活動を見取る。 ○ 活動の後半で、さらに会話を続けるやり取りを紹介する。</p> </div>				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◎ 評価【思考・判断・表現】(観察)</p> <p>A : 友達のお気に入りのロゴを知るために、文字から得られた情報に加え、友達の好みやロゴの形や色に関する質問を加えている。</p> <p>B : 友達のお気に入りのロゴを知るために、大文字と小文字を識別したり、アルファベットの並び方からロゴを予測したりしながら、お互いのお気に入りのロゴを伝え合っている。</p> <p>※ 前時までに慣れ親しんだ表現を想起させ、一緒に尋ねて聞き取ったり、聞き取った文字と一緒に確認したりする。</p> </div>				

7	まとめ	<p>◎ 評価【主体的に学習に取り組む態度】（観察）</p> <p>A： 友達のお気に入りのロゴを知るために、文字から得られた情報に加え、友達の好みやロゴの形や色に関する質問をしようとしている。</p> <p>B： 友達の好きなロゴを知るために、友達の好みを想像しながら、大文字と小文字を識別したり、アルファベットの並び方からロゴマークを予測したりしながら、お互いのお気に入りのロゴマークを伝え合おうとしている。</p> <p>※ 前時までの活動で慣れ親しんできた表現を想起させたり、本時の活動の方法を確認したりする。</p>	<p>○ 振り返りを記入させ、数人に発表させる。</p>	<p>・振り返りカード</p>
---	-----	---	------------------------------	-----------------